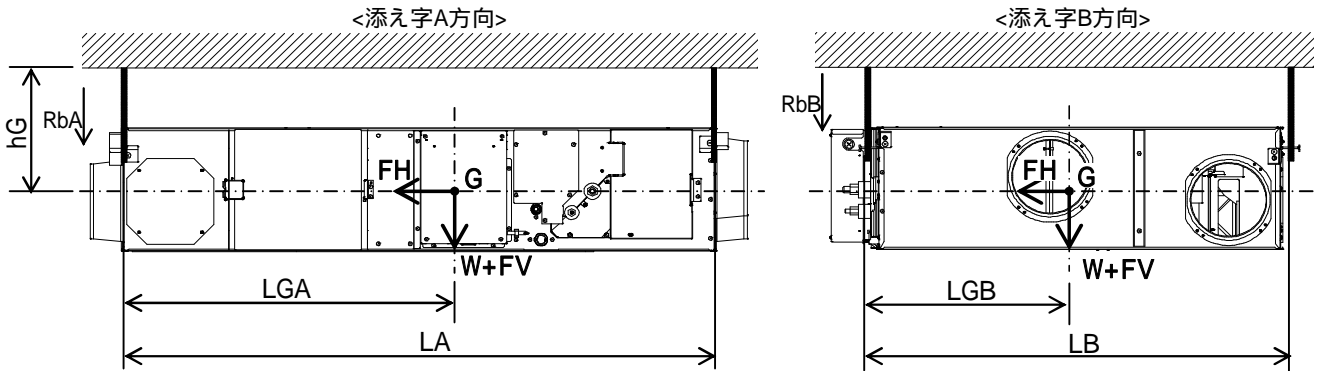


業務用口スナイ LGH-50RDF6 耐震強度検討書

< 取付条件 > 埋め込み式L形・LA形ボルト使用 (天吊)



< 計算条件 >

製品質量	W = 74 Kg (満水時)	ボルトから重心	LGA = 797.2 mm
重心高さ	hG = 500 mm	までの距離	LGB = 430.7 mm
ボルトスパン	LA = 1489 mm	ボルトサイズ	M10
	LB = 1064 mm	ボルト総本数	n = 4 本
		片側ボルト本数	nt = 2 本

設定アンカーボルト	埋め込み式L形・LA形ボルト M 10 コンクリート厚さ120(mm)、有効埋込長80(mm)	
設計用標準震度	KS	2.0 G
地域係数	Z	1.0
設計用水平震度	KH = KS × Z	2.0 G
設計用水平地震力	FH = KH × W	1.45 kN
設計用鉛直地震力	FV = FH / 2	0.73 kN
アンカ - ボルト引抜力	$R_b = \frac{FH \times hG + (W \times 9.8 + FV) \times (L - LG)}{L \times nt}$ ・ボルトスパンA側 RbA = 0.58 kN ・ボルトスパンB側 RbB = 0.77 kN * L : LA又はLB、LG : LGAまたはLGB	
アンカ - ボルトせん断力	A : ボルト断面積 M10 0.55cm ² (M12 0.80cm ²)	0.66 kN/cm ²
短期許容引抜力に対する安全率 (ボルトスパンの短辺側で計算)	M10 4.0kN (M12 4.8kN)	5.2
SS400の短期許容せん断力に対する安全率	SS400: 10.1 KN / cm ²	15.3

上記計算結果では、M10埋め込み式L形・LA形ボルト[コンクリート厚さ120(mm)、有効埋込長80(mm)の施工]は十分な強度を有する。

「建築設備耐震設計・施工指針2005年度版」を参照しています。

本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。

吊りボルトは振れ止め用耐震支持部材にて必ず補強を行ってください。

N11HBGT0083